

風"s・風のたよりオンライン版

2001/3/4 No.43

■風"s店長日記(1) 土井ゆきこ

★3月2日

二人の年配の女性の方が来店。お一人がその前の日に「風"s」に来て下さって、翌日に早速お友達を誘ってきてくださったとのこと。

友達の方は80才過ぎとか…。誘った方も70代のかた。二人とも、とても気持ちのいい年の重ねをしてみえるように思いました。気持ちのよさを感じる、明るさ、気遣いでした。

例えば「お金をこわして（名古屋弁でくずすということ）…」と互いにやりとりの中「店のほうでこわしましょうか」と私が言うと「店では大事な釣銭だから…」というようなことを言われました。実際店をやっていると釣銭は大切です。ただ「こわして」の対応に苦慮することもある中、この会話は嬉しかったし、お相手してお話をしていたら、「こんな私達に…」というようなこともおっしゃる。この気遣いがなんだか人柄を感じ嬉しく思った日でした。また、なかなか帰れない…とお店も気にいって頂いたようでこれまた嬉し！

★3月4日

スリランカの紅茶、手漉きのカードなどたくさん買ってくださいました若い女性は、この春職場を去る人で「餞別の品をフェア・トレードで…」と選びに「風"s」に来てくださったそうです。嬉しい！

作る人→現地のフェア・トレードの団体→日本のフェア・トレードの団体→

風"s（ふ〜ず）→フェア・トレードの品を選ぶ人→贈られる人、一つ、一つ手渡されて行く、フェア・トレードの品々。

溢れる品の生活の中に何を贈ったらいいのか、何が喜ばれるのか本当に悩みます。

ちょっとした品に「思い」をのせ、伝える手建てとして「フェア・トレードの思い」をリレーで託すことができると思います。

★モード

いくつものモードが必要な店主です。営業（店番）モード、仕入れモード、総務モード、経理モード、渉外モード、外商モード、営業推進モード、企画モード、広報モード、NGOモード、主婦モード、母モード、叔母モード、嫁モード、学校関係モード、介護モード...てな具合で日々、切り替えながら、帰り道、やっと子どものおやつがないな～とか、おじいちゃんのお酒が切れたな～とか、土壇場にならないと切り替えられない日々です。

昨年に続き、5月の連休に全て開放モードに設定しようかなと思っています。「未来食」（実際は雑穀などの穀物を中心とした伝統食）提唱の大谷ゆみこさんち（山形県）へでかけたいと思っていますが.....。

■People Tree(ピープル・ツリー)

2001年春夏号新発売！

フェア・トレード&エコロジー通販マガログ(350円)より

○記事「責任あるお金の使い方」とは？

SRIという耳慣れない言葉がある。「社会的責任」を果たす投資つまり投資先の事業が社会的に意義のあるものかどうかを考えて行う投資のことだ。

そもそも私たちは預けた自分のお金がどのようなところで使われているのか知っているだろうか？ 銀行や郵便局は融資事業の情報を預金者に提供したりしないし、また預金者も、あえて情報を得ようとする人は少数派かもしれない。

消費者の自己責任が問われる今日、自分のお金の使い道についてもう少し真剣に考えてみたい。

○金融の新しい試み

1999年夏、「エコファンド」という名称の投資信託商品が、日興証券をはじめとする証券会社から売り出されて話題を呼んだ。投資信託とは広く一般の投資家から小口の資金を集め、それを投信会社が債権や株式などに投資し、利益を投資家に還元するというもの。「エコファンド」は、その投資先を、環境問題に積極的に取り組んでいる企業に限るという日本では初めてのSRI商品で、それまで投資とは無縁だった人々を惹きつけた。

一方、既存の金融の枠に縛られず、市民が自分たちの手で金融機関を立

ち上げる動きもある。東京江戸川区の「未来バンク事業組合」は問題の多い現在のお金の流れを変えようという有志が集まって結成された。市民団体と環境事業にのみ融資するという、SRI専門のユニークな金融機関だ。

○「未来バンク」とは...

未来バンクは、バンクといっても不特定多数に融資を行う銀行ではなく、有志が出資金を出し合って組合員になり、必要な時に融資を受ける事業組合です。3%という固定金利で、融資の対象は市民団体や環境事業に限っています。例えばGV（グローバル・ヴィレッジ）の事業部門（ピープルツリー）であるフェアトレードカンパニー株式会社も99年から未来バンク事業組合の組合員となり、生産者団体への代金の前払いなどのために融資を受けました。

○未来バンクの始まり...

自分たちの手で金融機関を作るという構想は、もともとはごみ問題を考える市民運動から始まったんです。リサイクル推進運動を進めていたとき、安い資源が輸入されてくるために、リサイクルするより使い捨てにした方が安上がりになってしまうという問題にぶつかりました。

その背景を調べていくと、日本のODA（政府開発援助）が途上国のアルミニウムや木材の輸出を支えており、それによってダム建設による環境破壊や森林破壊が起きているという事実が見えてきました。そのODAの資金源が私たちが預けている郵便貯金や年金だったのです。問題を根本から解決するには、この金の流れを変える必要がある、ということから市民が自分たち手金融機関を作ろうと94年に立ち上げたのが「未来バンク」です。

郵便貯金とODAの関係は、田中優著書「どうして郵貯がいけないの」

（1993年北斗出版）に詳しいのですが自分たちが預けたお金が、知らないところで環境破壊や人権侵害に寄与しているかもしれない、ということに気づかされ衝撃を受けます。とはいえ「今すぐ郵便貯金を解約しよう」といわれても代替りの預け先をどこにするか、何を手掛かりにしてよいかわからないというのが実情です。一方で同じ郵便貯金でも「ボランティア貯金」のように利息で社会貢献できるという新しいサービスが生まれていますが.....

○ボランティア貯金

ボランティア貯金にお金を預けるとを、問題があるODA等の有志に貯金の10,000円が使われたとして、NGOに寄付されるのは利息の1部の5円にしかすぎません。これでは被援助国の人を10,000回殴りつけてから5回ほど頭をなでているようなもので、10,000回殴ることをやめる方がよほど貢献できる.....？。

○詳しくは「ピープルツリー」で...

消費という選択だけでなく、「預ける」という日常的な「預金」にも、もう一つの選択肢があることに気がつきました。詳しくは「ピープルツリー」を読んでください。

オーガニックコットン、藍染めなど自然素材に身を置きたい人も是非のぞいてみてください。

○「ピープルツリー」と「風"s」！

風"sも通信販売をしています。「ピープルツリー」と同じ条件で通販・買い物ができます。注文等もお待ちしています。

7月7日はピープルツリーの編集長であり、今年10年のグローバル・ヴィレッジの代表でもあるサフィア・ミニさんの講演会もウィルあいちで予定しています。スケジュールチェックをどうぞ。定員100名ですよ。

★フェア・トレードって？と思っている人

★フェア・トレードのこともっと知りたい人

★自分の生き方を探っている人

★7月7日その日、その時間、その場で今後のフェア・トレードの展開に大きな力が生まれると私は思っています。それは、私達の日々の暮らしを考える日にもなると思います。

フェア・トレードショップ 風"s 052-962-2638

★フェア・トレードとは....

フェア・トレードとは、発展途上国の有機栽培食品や手工芸品等を、公正な価格で取引し、仕事創りから技術支援もする、世界のNGO(非政府組織)を中心に繰り広げられている草の根交流です。より多くの人々が、フェア・トレードによる商品を選んで買うことが、発展途上国と共に生きる方向が見えてきます。

『GAIAの会』は、1996年5月発足。女と男、老人と若人、障害をもった人と今そうでない人、南と北の国の人、自然と人...「共に生きる」をテーマに互いに学び合いながら行こうとする誰でも気軽に参加できる会です。